

辟

辟は、^{ヘキ}辟と口との形声字。口は丸い玉の象形で、**璧**の本字。**辟**は“丸い玉”が本義です。また、^{ヘキ}辟の意味にも使われます。辛は、^{ヘキ}辛で、受刑者に施す黥をするのに使う針の象形です。転じて“つらい”意味に使われる字です。辛苦。^{ヘキ}辟は、**入**(尸)に**黥**を施すという意味の字で、“罰する”ことを表わした会意字です。

璧は、丸い玉のことです。**辟**が“罰”の意味に使われるために、**玉**を加えてこの字を作ったものです。^{ソウヘキ}双璧(二人のすぐれた人物のたとえ)、^{カンベキ}完璧(完全無欠)。

避は、罰の意味の**辟**と**辵**との会意形声字です。**罰**からはだれも遠ざかりたいというのが人情なので、“さける”という意味になります。音は**辟**が変化したヒです。避難、避暑、逃避。

僻は、“罰を受けた人”という意味の**辟**と**入**との会意形声字です。こういう人は、とかくひがんだり、片寄った見方をしますので、“ひがむ”“かたよる”という意味を表わしました。音は**辟**です。僻見、僻地。

壁は、**避**の意味の**辟**と**土**との会意形声字です。風や寒さを**避**けるために設けた**土**の障壁、つまり“かべ”のことです。音は**辟**。壁画、城壁、絶壁。

癖は、**僻**の意味の**辟**と**疒**との会意形声字です。“片寄った病気”という意味で、好みなどの片寄りを言うようになりました。“くせ”。^{シユヘキ}酒癖、^{トウヘキ}盗癖、^{ケツベキ}潔癖。

譬は、**避**の意味の**辟**と**言**との会意形声字です。物事を直接に**言**うことを**避**けて、類似の例によって説明すること。“たとえ”。^{ヒョク}譬喩(引き比べて言うので、比喩とも書く)。

臂は、**辟**と**肉**との形声字で、“ひじ”のことです。婦人がいやな男を**避**けるために“**臂**鉄砲”を使うのは、漢字の構造から見ても誠によく適っています。

闢は、**門**の両扉が互に**避**け合うように“ひらく”ことを表わした字で、**辟**と**門**との会意形声字です。門の扉を左右に“おし開く”のが本義です。天地**開闢**(宇宙の初め)などと使われます。音は**辟**、呉音はヒヤク。

劈は、“**力**で切り開く”という意味の会意形声字です。つんざくこと。**闢**と同じように、“はじめ”の意味にも使われます。^{ヘキトウ}劈頭(一番初め)。

霹は、雷鳴の“つんざく”ような音を言います。雷の意味の**雨**と、**闢**の意味の**辟**との会意形声字です。「青天の霹靂」(青空の雷鳴は突然の変事を譬えたもの)というように使われます。